

東京都地域医療対策協議会委員からの意見等

別添資料「専門研修プログラム認定等に関する東京都地域医療対策協議会委員意見等一覧」のとおり

プログラム基幹施設等からの主な意見等

○ 定員数について

- ・ 学会との調整で大幅に定員が削減されたが診療体制の維持に必要な定員数を確保してほしい。
- ・ 地域への派遣貢献度も考慮してほしい。
- ・ 大学病院に若手医師が集約されてしまうのではないか。
- ・ 都市部から地方に派遣しているため入局者が減ると地方病院へ派遣できなくなる。
- ・ 都市部の定員を圧縮して、指導実績や経験奨励の少ない基幹施設で専攻医を無理に増やして研修を行い専門医資格を取得させることの方が、日本全体の医療として問題がある。
- ・ 診療科によっては、地方には診療科として独立していない施設が多く、専門研修プログラムを開設することさえ困難な状況にあることなどを勘案してほしい。

○ スケジュールについて

- ・ 病院としての募集・試験の予定がたてられないため、今後のスケジュールを早急に明示してほしい。

○ 制度について

- ・ この制度を利用して医師の地域偏在を是正することには賛同しかねる。
- ・ 小児科でも大都市のプログラムの募集人数の上限がかかっているが、他の領域に人材が流れるだけで小児科医の全国の総数の減少が危惧される。

○ 総合診療プログラムについて

- ・ これまでの連携施設がへき地の条件に合致せず連携できなくなってしまった。
- ・ へき地の定義が曖昧であり実情とかけ離れている。
- ・ 基幹施設とは関係ない遠方の医療施設との連携を強制することは、必ずしも望ましいものではない。
- ・ (プログラム不認定施設より) 理由の説明と復活の機会の提供をしてほしい。

○ その他

- ・ 既に審査の認定は受けておりこれ以上定員削減は行わないでほしい。
- ・ 学会認定及び専門医機構の認定は既に受けており都の認定も必要との話は聞いていない。

など